

第 1 部

はじめに

1. 第 2 次宇陀市総合計画の性格と役割
2. 総合計画の進行管理

第2次宇陀市 総合計画の性格と役割

▶ 1.1 第2次宇陀市総合計画策定の趣旨

第1次宇陀市総合計画の策定(2008年3月)から本市を取り巻く社会・経済情勢は大きく変化しました。また、地方自治法の改正を通じて、地方分権改革による市町村の主体性や自主性が求められるようになりました。

本市では、総合的かつ計画的な行政運営の指針であり、かつ市民にまちづくりの長期的な展望を示すものが必要であると考え、第2次宇陀市総合計画(以下、本計画)を策定しました。

▶ 1.2 本計画の位置付け

本計画は、行政運営の総合的な指針として位置付けています。本計画では、今後12年間で本市が目指すべき将来像や将来像の実現に向けての施策の方向性を定めることを目的としています。

具体的な事業の内容等については、本計画で定めた方向性に沿って検討を進めていきます。

▶ 1.3 本計画の策定根拠

地方自治法の改正(2011年5月)により、総合計画(基本構想)の策定義務は廃止されました。そのため、本計画策定にあたっては、計画の実効性を確保するために策定根拠となる「宇陀市総合計画条例」を制定(2017年4月)しました。

宇陀市総合計画条例

第3条

市長は、総合的かつ計画的な市政の運営を図るため、総合計画を策定する。

▶ 1.4 計画の構成と期間

(1) 計画の構成

本計画は、宇陀市総合計画条例に定めるところにより、基本構想及び基本計画から構成されています。

基本構想については、まちづくりの前提となる「基本理念」や12年間で目指すべき宇陀市の「将来像」、「将来像」の実現に向けた「施策の方向性」を定めています。

基本計画については、基本構想で定めた「将来像」の実現に向けて、必要な「施策」を「施策の方向性」に沿って定めています。基本計画は4年毎に効果検証を実施して見直しを図っていきます。

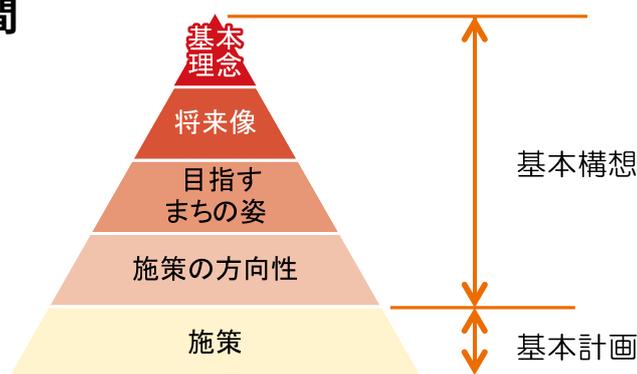


図 第2次宇陀市総合計画の構成

(2) 計画の期間

第1次宇陀市総合計画では、基本構想を2008年から2017年までの10年間、基本計画を前期・後期それぞれ5年として実施してきました。

しかし、基本構想10年、基本計画5年の周期は市長任期4年とは連動しておらず、策定時期も市長選挙の時期と異なるため、市長の政策方針を総合計画に即時的に反映しづらい等の問題がありました。

そこで、本計画については、市長の政策方針を総合計画に反映しやすくするために、基本構想の計画期間を2018年度から2029年度の12年間とするとともに、基本計画は、市長選挙後に合わせて前期年(2018～2021年度)・中期年(2022～2025年度)・後期年(2026～2029年度)とし、4年毎の実施としました。

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年
市長任期	市長任期4年				市長任期4年				市長任期4年			
選挙時期	選挙	↑ 市長任期と連動 ↓			選挙	↑ 市長任期と連動 ↓			選挙	↑ 市長任期と連動 ↓		
改正年度	改訂				見直し				見直し			
計画期間	前期年				中期年				後期年			

図 第2次宇陀市総合計画の計画期間と市長任期等

総合計画の進行管理

▶ 2.1 進行管理の考え方

(1) PDCA サイクルの実践

本計画の実効性を担保するためには、本計画で定めた各種取組みや目標値が問題なく実施されていることを確認するとともに、問題が発生した場合、その解決策を検討するなど適切な進行管理が必要です。

進行管理にあたっては、本計画 (Plan) の内容に基づいて各種取組みを推進 (Do) し、評価・検証 (Check) を継続的に実施することが重要です。加えて、必要に応じて計画の改善や見直し (Action) を行い、その結果に応じて改めて計画を立案 (Plan) していかなければなりません。

本計画は、こうしたPDCAサイクル(“P”:Plan → “D”: Do → “C”:Check → “A”: Action)の考え方に基づいて進行管理を行っていきます。

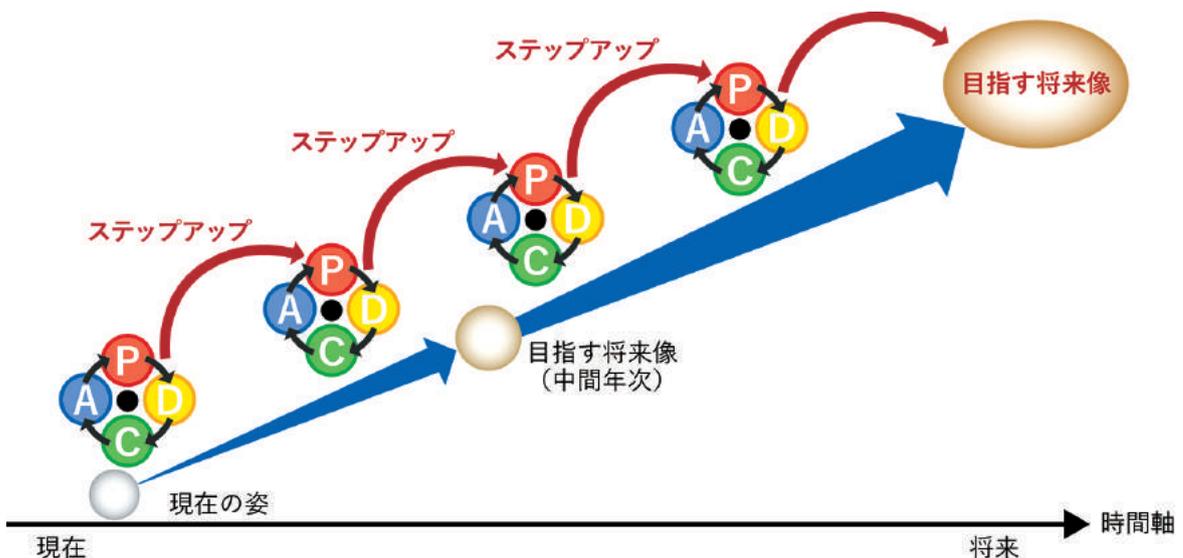


図 PDCA サイクルのイメージ

(2) 計画の構成に合わせた進行管理

本計画は、「1.4(1) 計画の構成」に示したとおり、基本構想と基本計画の大きく2層構成となっており、基本構想部分は12年、基本計画部分は前期・中期・後期の4年毎となっています。そのため、進行管理にあたっては、基本構想と基本計画の2段階で実施することとします。

▶ 2.2 進行管理体制

本計画の評価・検証にあたっては、学識経験者や公共的団体等の役員、市民委員等で構成される「宇陀市総合計画審議会」が中心的な役割を担います。

加えて、庁内には、総合計画全体の進行状況を管理する「検証委員会」及び「目指すまちの姿」別に各種施策の進行状況を管理する「目指すまちの姿別検討会」を設置し、総合計画を体系的に進行管理できる体制を構築します。

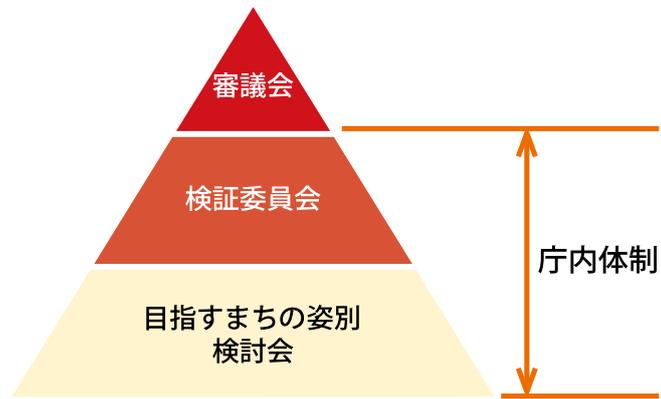


図 第2次宇陀市総合計画の進行管理体制

(1) 審議会の構成

本計画が順調に進行しているかについては、関係主体毎に捉え方が異なることも考えられます。そのため、様々な視点を有した委員で構成される「審議会」において、総合計画に基づく施策の取組状況及び成果を客観的に検証します。

表 審議会の構成

構成	委員の構成(2018年度時点)
行政委員会の委員	・宇陀市教育委員会 ・宇陀市農業委員会
公共的団体等の役員	・宇陀市都市計画審議会 ・宇陀商工会 ・宇陀市観光協会 ・宇陀市社会福祉協議会 ・宇陀市女性の会 ・宇陀市森林組合 ・宇陀市人権教育推進協議会 ・宇陀市民生児童委員連合会 ・宇陀市連合自治会 ・宇陀市老人クラブ連合会 ・宇陀市PTA協議会 等
学識経験者	・奈良県立大学 ・奈良テレビ(株) ・(株)南都銀行榛原支店
その他市長が必要と認める者	・市民委員

(2) 検証委員会及び目指すまちの姿別検討会の設置

庁内に設置する「検証委員会」は、市長、副市長、教育長及び各部署の部長級が参加・運営して総合計画全体の進行状況を管理します。また、下部組織である「目指すまちの姿別検討会」は、課長級をはじめ所属長が参加・運営して「目指すまちの姿」別に各種施策の進行状況を管理します。

▶ 2.3 進行管理のスケジュール

「2.1(2) 計画の構成に合わせた進行管理」の考え方に基づいて、基本構想と基本計画のそれぞれについて進行管理を行います。

基本構想については、新たに基本計画が策定されるタイミングで中間評価を行います。

基本計画については、「施策」においてより細やかな対応を可能とするため、1年ごとに「施策」の進捗状況の確認を実施します。

なお、総合計画は長期にわたる計画であるため、予想を超えるような社会経済情勢の変化等により、本計画どおりに進行が困難な場合や本計画の内容が時代潮流にそぐわなくなることも考えられます。そのため、必要に応じて計画内容の検証及び内容の見直し等を行います。

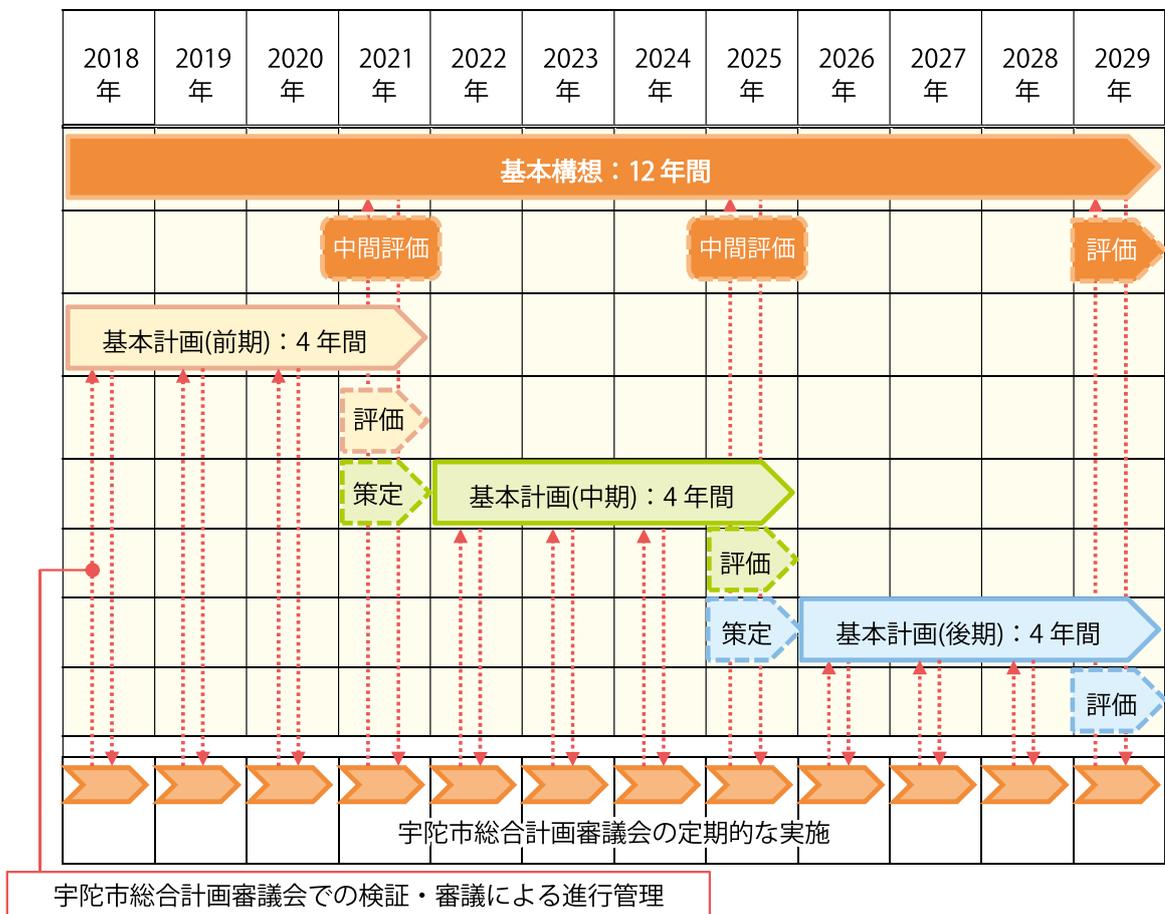


図 総合計画の進行管理のスケジュール

▶ 2.4 評価方法

本計画の進行管理にあたって、評価項目及び評価指標、評価方法は下表のとおりです。

4年に1度評価を実施する基本構想については、「目指すまちの姿」がどの程度実現できているかを評価します。

毎年評価を実施する基本計画については、「施策」の進捗状況を評価します。なお、目標値を達成できなかった施策については、主に担当課において原因等を分析・検討して、翌年度以降の改善を図ります。

表 基本構想及び基本計画の評価方法等

	評価項目	評価指標	評価方法
基本構想	「目指すまちの姿」の実現度	<ul style="list-style-type: none"> 「目指すまちの姿」に対するアウトカム指標（成果指標） 市民等に対するアンケート結果における満足度や重要度等 「施策」の進捗状況 	左記3つの評価指標を用いて総合的に判断し、I～Vの5段階で評価する。 I：目指すまちが十分に実現できている。 II：目指すまちが概ね実現できている。 III：目指すまちがある程度実現できている。 IV：目指すまちがあまり実現できていない。 V：目指すまちが全く実現できていない。
基本計画	「施策」の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 「施策」に基づいて実施されている事業*のうち、当初の計画どおり進捗している事業の割合を基に点数化 	各事業の目標値に対する実績値の割合を算出し、点数化する。 (宇陀市独自の取組みで評価できる事業の目標値を掲げるものとし、法定受託事務等で行っている事業は除く。) 【実績値 / 目標値により点数化】 a：80%以上は4点 b：60%以上80%未満は3点 c：40%以上60%未満は2点 d：20%以上40%未満は1点 e：20%未満は0点 次に施策の下部事業の平均値を、施策の総合評価とする。 A：(3.5点以上) 施策が十分に実現できている。 B：(2.5点以上3.5点未満) 施策が概ね実現できている。 C：(1.5点以上2.5点未満) 施策がある程度実現できている。 D：(0.5点以上1.5点未満) 施策があまり実現できていない。 E：(0.5点未満) 施策が全く実現できていない。

*評価にあたっては、「施策」の評価対象とする事業の一覧である「事業進捗管理シート」を作成

絵画応募作品

大好きなまち宇陀市



城本 初陽 さん(小1)
テーマ:「わたしが好きな宇陀市の風景」
タイトル:「大好きな宇陀市のふうけい」



西浦 大智 さん(小1)
テーマ:「わたしが好きな宇陀市の風景」
タイトル:「ぼくの町 ぼくの車」

第2次宇陀市総合計画の策定にあたり市内の小中学生から「わたしが好きな宇陀市の風景」「こうなったらいいな、宇陀市の未来」というテーマで絵画作品を募集しました。

※学年は募集時の学年となります。